

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



Rotary International District 2780
2024 - 2025

2024-2025年度ガバナー 佐々木 辰郎

RID2780地区テーマ

ロータリーのマジックを行動で示そう!



スポーツは、生涯にわたってたくましく生きるための健康や体力の基礎を培うとともに、公正さと規律を尊ぶ態度や、克己心を培うなど人間形成に重要な役割を果たすものと考えます。

地域の子供達がスポーツをする機会と継続的にできる環境を作り、元気で無邪気に瞳を輝かせパワー漲る大人へと成長してほしいと願い、全力で奉仕活動を行っております。

クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区
2024～25年度ガバナー

佐々木 辰郎

(大和田園RC)



『新年の誓い』

各クラブの皆様、そして地区役員の皆様、新年あけましておめでとうございます！

皆様にとって、本年が素晴らしい1年であるようご祈念申し上げます。そして本年も相変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

年末にインターアクトの皆様と台湾のインターアクト交流を行い互いの国を超えて素晴らしい交流が出来た事を改めまして報告致します。若い方達との交流は我々にも新しい力が与えられる事を実感した幸いです。また、クリスマスイブの夜には第3グループのボランティア活動に参加して、サンタクロースに扮装し、子供たちに食事とお土産のお菓子を差し上げました。

この時代に、日本において食事も満足に与えられない子供がいる事に驚きを感じました。そして親までもがその食事に参加する姿に改めて驚きを隠せませんでした。我々が少しでも時間と費用を費やすことによりこの様な現状把握と新しい展開が広がることに改めて実感致しました。もちろんこの様な事がある事を知らなかったわけではありませんが実践することによりその意識が高まり、改めて感動致しました。実際の状況を自分の目で確認する事がいかに大切かと身をもって感じました。

今年度のRI会長スティファニーAアーチックさんは「ロータリーのマジック」をテーマにされました。私は「ロータリーのマジックを行動で示そう」を今年度地区テーマに掲げました。

新春にあたりこのテーマを再度確認して頂き、そして今年度我々と各クラブがリンクし奉仕の実践を行うようお願い申し上げます。そして各クラブの掲げた今年度のプロジェクトを再確認し、実践して頂けます様更にお願ひ申し上げます。

また、地区委員会を中心に各クラブがリンクし奉仕の実践に対する行動を今一度、新しい年の初

めに確認しクラブメンバーに浸透させて頂きませう様お願い申し上げます。

今年度、私は地区委員会の在り方を大きく変更いたしました。それは、我々が行う地区委員会の存在意味を改めて考えた結果です、地区委員会は地区の為だけではなくクラブとリンクし今年度のクラブ運営がよりスムーズに進行できるようにするための要となる委員会であると考えております。

従って本年度は各クラブ委員会と地区委員会のジョイントを多く行いたいと考えております。それが地区の考え方を各クラブに伝える最良の手段と考えます。各クラブの委員会の方が地区委員と大いに語らい、そしてその真意を会得し、各クラブに浸透させることがクラブ活性化の一助になると考えます。

また今年度新しくRIが取り入れた方策が3 year targetです。それは今まで単年度であった各クラブ計画と地区方針を3年間の継続ターゲットを設定し、実施する事です。その理由は、現在の社会状況において単年度での達成できる目標もあるものの、単年度では達成できないターゲットは継続目標にすることがより良い結果を生み出せるのではないかとこの考えから、この方針が打ち出されたと考えます。いずれにしても、まずは方針に従い今年度から施行し、3年目にてその結果を次の体制に判断をゆだねる事が今年度の役目と考えております。今年度まだ半年残されておりますのでこのターゲットに向かって残りの期間その内容の詰めと実践に向かって邁進したいと思ひます。

これらの事を考え、今年度後半を充実した年となります様行動をお願い申し上げます。

更に新年にあたり皆様のご健勝を祈念し新春の誓いと致します。

『職業奉仕月間に因んで（「職業奉仕卓話セミナー」実施報告）』



地区職業奉仕委員会
委員長 前 沢 弘 之
(津久井中央RC)

佐々木ガバナーの今年度地区活動方針（それは、特にクラブと直接的な接点を持つ委員会にとって、これまでの在り方を大幅に、しかも現実に変えるような方針だと思います）を受けて、さてどう応答したものかと思案の末、当委員会は次のような結論を出しました。

- 1 従来、委員がクラブ訪問の形で行ってきた「職業奉仕月間卓話」には、自己研鑽に向けた意欲やモチベーションを高める機会として、行なう価値がある。これを今年度は各クラブの会員さん自身にやっていただく。（それが何年も積み重ねられると、クラブと地区の大きな財産になるだろう）
- 2 委員会は、そのための材料（リソース）やノウハウを提供し、支援する立場に回ろう。
- 3 呼びかけだけでなく、卓話実施のための実戦的・即効的なセミナーを開催してみよう。

こうして、地区ホームページ上に卓話用ダウンロード資料などを整備し、また、参加者に事前準備までお願いの上、去る11月30日(土)、第一相澤ビル8階会議室において「職業奉仕卓話セミナー」を開催いたしました（登録者数40名、出席総数39名）。

2時間半という短い時間に、資料紹介、ダウンロード要領や利用方法の説明、動画視聴、十数名の方による卓話体験、更には当委員会委員と担当副幹事による「自身（の職業）にとっての職業奉仕を論ずる"ショート卓話"」まで詰め込みましたが、ご参加い

ただいた21クラブ22名の皆さま、地区役員・委員の皆さま、いかがでしたでしょうか。

効果のほどは、皆さんに実際に卓話を実施していただけるか、そして、クラブ内でのその評価如何にかかっているわけですが、セミナー自体は、皆さまのご協力によって、初めての試みの割にはスムーズに運営・進行できたのではないかと思います。真摯で活発なご協力に、心より御礼申し上げます。

もしも、この試みに効果が認められたなら、今後の委員会運営の一つの指針になるのではないかと思います。例えば、次のようなことです。

- ・地区ホームページを利用した卓話リソースの充実（これは、社会・国際奉仕委員会が「リソースネットワーク」の構築という優れた事業で先鞭をつけておられます）
- ・宗教家ロータリアン、弁護士ロータリアン、小売業ロータリアンといった同業者同士で「自分（の職業）にとっての職業奉仕」を論じ合う機会を設ける（それは各人の職業奉仕に、更なる深みと実効性をもたらす機会となるでしょう）

新年を寿ぎつつ、そしてまた、今頃は地区のあちこちで「職業奉仕月間卓話」が行なわれていることを、念じつつ。

写真提供：守屋又市地区クラブ管理運営委員（相模原RC）
伊藤孝仁地区公共イメージ委員（相模原RC）



CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
職業奉仕月間に因んで（「職業奉仕卓話セミナー」実施報告）	3
社会・国際奉仕委員長セミナーの報告	4

米山学友会主催：クリーンキャンペーン	5
第34回インターアクト年次大会報告	6
第6グループ・クラブ紹介	7
ガバナーノミニニー確定宣言	12
新会員紹介 他	13

『社会・国際奉仕委員長セミナーの報告』

地区社会・国際奉仕委員会
委員長 田中重光
(茅ヶ崎中央RC)



2024年11月16日、第一相澤ビルにおいて、「社会・国際奉仕委員長セミナー」が開催されました。本セミナーは、各クラブより50名弱、ガバナーをはじめとする地区役員、当委員会委員等を含め70名が参加し、2024-25年度に各クラブがどのような奉仕活動を行うのかを共有し、「ロータリーのマジックを行動で示す」という今年度の地区テーマを掲げて行われました。

開会の最初に佐々木辰郎ガバナーよりテーマである「ロータリーのマジックを行動で示す」に関し、現在の地区の状況もまじえてお話いただきました。

社会奉仕の事例紹介として鎌倉中央RCの青木小枝会長より視覚や複合障害を持つ横浜訓盲学院の子供たちを招待し、BBQと海遊びを楽しむという取り組みです。鎌倉中央の会員の他にも学生や医療従事者など多くのボランティアが参加しました。この活動を通じて、子供たちは新しい経験を楽しみ、保護者や学院関係者も感謝の意を表しました。青木会長はこの事業をした事によりクラブの絆が強まったと話されました。

国際奉仕活動として伊勢原RCの大澤守門国際奉仕委員長より、「ワールドキャンパス・伊勢原」に来た10か国32名の若者を招いて夏祭りを実施したという事例を紹介してもらいました。海外ゲストはじめ、スタッフ、ホストファミリー、地域住民や地元学生など総勢300名でのイベントで色々な体験をし、みんな参加での

盆踊りは大変盛り上がったとのことで、良い国際交流の場になったとの発表をいただきました。

地区社会国際奉仕委員会の栗原和子委員よりの報告で、5月のシンガポール国際大会に参加した当委員会有志メンバーが、帰りにバリ島のタートルアイランドを訪れ、ウミガメ保護施設での活動を支援しました。ウミガメは産卵地の減少や地球温暖化、プラスチックごみなどの環境問題により、絶滅危惧種となっています。栗原委員は、環境保全と持続可能な資源確保の必要性を訴えました。本活動は、国際的な奉仕活動の一例として多くの学びと発想を提供しています。また、当委員会の活動として委員長の田中より国際奉仕リソースネットワークについて実際にサイトを開いて説明を行いました。

第2部として8グループに分かれ「ロータリーのマジックを行動で示そう！」というテーマでグループディスカッションが行われました。各クラブの本年度、奉仕活動はまとめて事前配信及び当日に要約を手渡し、それを素に参加者は各クラブの経験や視点を共有し合いました。意見交換の中では、新たな発想や実践のヒントが生まれ、参加者の奉仕活動を広げる場として、良い機会となりました。(グループ毎のまとめは地区HPにアップします)

最後に、松下孝ガバナーエレクトによる総括が行われ、セミナー全体の振り返りと今後の取り組みに向けた言葉が述べられセミナーは終了しました。



『米山学友会主催：クリーンキャンペーン』



地区米山委員会
委員長 齋藤 秀人
(横須賀RC)

米山学友会主催の江ノ島クリーンキャンペーンを11月17日(日)午前10時よりに開催されました。約2時間の清掃活動です。

今年は例年の開始時期をずらし、11月に開催しました。参加者は奨学生18名、学友6名、クラブロータリアン・地区関係34名の合計58名の参加のもと開催されました。当日は晴天に恵まれ、一斉に海岸清掃に取り掛かりました。残念ながらゴミは他団体の清掃活動と並行して実施されたため成果は少なかったが、和気あいあいと活動が出来ました。

廃棄ゴミの処分は、公益財団法人かながわ海岸美化財団のご協力を得て海岸の所定場所に捨てる事が出来ました。今後の海岸清掃でも大

変に良いシステムでした。

その後、立食の懇親会も企画され、江ノ島海岸を見下ろせる会場、ガープ江の島の3階を貸し切りで懇親会が開催されました。懇親会では参加の第一グループから第十グループまでの奨学生・学友・カウンセラーロータリアンが舞台に立ち、自己紹介や近況報告をされ懇親を深めました。今後も色々と企画しますので、ぜひ多くのご参加をお待ちしております。また今後の米山奨学会の行事としては、1月26日開催の次年度奨学生の面接試験を予定しています。カウンセラーの引き受けをお願いする場合がございます。ご理解ご協力をお願いいたします。



インターアクト

『第34回インターアクト年次大会報告』



地区インターアクト委員会
委員長 匂坂 祐二
(逗子RC)

2024年11月23日(土・祝)に、第34回インターアクト年次大会が、ホスト校の湘南学園中学校高等学校、提唱クラブの藤沢ロータリークラブのもと、湘南学園中学校高等学校に於いて開催されました。当日は、地区内のインターアクトクラブ10校、各提唱クラブ、佐々木ガバナー、PG、AGをはじめ、地区役員の皆様、各ロータリークラブ会長、及び会員の皆様、ロータリーアクト、インターアクト学友の皆様、総勢で約180名が出席されました。開催にあたり、湘南学園中学校高等学校の住田学園長、岩武理事長、伊藤校長を始めとする学校関係者には、多大なるご尽力を頂きました。年次大会は、主管校の地域に集い、交流や活動の発表を通して、相互理解を図り、社会奉仕や地域貢献の意識を共有する目的があります。今大会は、「みんなで世界を平和に！～人と人との繋がりを持って戦地や被災地で苦しむ人々を助けていこう！～」をテーマに開催されました。午前は、各インターアクトクラブの活動発表が行われました。昼食時には、ランチミーティングとして、「教育はどう平和につながっていくのか」というテーマを

もとに話し合いがされました。午後からは、特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド事務局長の西山直樹氏による講演が行われました。「体育から始める国際協力」をテーマで、平和についての話からハート・オブ・ゴールドの展開するカンボジアでの体育科教育支援事業について説明して頂きました。講演後のディスカッションでは、「平和」を題材にしたマインドマップを作成しました。マインドマップは、情報や思考を整理するためのツールです。紙とペンを使ってメインのテーマを中心に書いたのち、それに関する内容を放射線状に書き出していくノート術です。平和について考えてみて感じたことを各グループが書き出し、最後に発表をしました。この年次大会を通じて、各校インターアクトクラブ、インターアクターが持続可能な変化を生むための活動に活かす機会の一助になったと考えます。次年度ホスト校は、明德学園相洋高等学校です。今後もインターアクトクラブの活動に対しまして、変わらぬご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



クラブ紹介

第6グループ

厚木ロータリークラブ

会長 栗原良幸

私たち厚木ロータリークラブは1961年、平塚ロータリークラブをスポンサークラブとして創立され、今年で64年になります。例会は年間46回、毎週火曜日、12時30分より厚木商工会議所の大会議室で開催しています。

今年度は「フィーチャービジョンを語り合おう」のスローガンのもと、クラブ研修リーダーを中心としての小委員会を立ち上げました。これからのクラブの方向性を会員同士が共有し、目標に向かってクラブ運営をしていくためです。

私たちのクラブでは親睦活動委員会を中心として、親睦活動例会を夏・秋・冬・春の年4回開催しています。季節ごとに趣向を凝らした親睦例会では、会員や家族が和やかな雰囲気のもと親睦を深めています。

今年のテーマ「ロータリーのマジックを行動で示そう！」に合わせ、来年4月にはクラブが特別協賛している「ふれあいティーボール大会」が開催されます。県内から400名近い小学生選手が集まり、選手の歓声で熱気溢れる大会となっています。



開会式の様子



納涼親睦例会



大和ロータリークラブ

会長 松川健治

大和ロータリークラブは藤沢ロータリークラブをスポンサークラブとして誕生し、地域の方々やこれまでの先輩ロータリアンの皆様に支えられ、63年目を迎えた歴史のあるクラブです。現在継続事業として行っているのが、6回目を迎えた「やまと児童絵画コンクール」という事業です。毎年テーマを変えて大和市内の小学校の児童を対象にテーマに沿った絵を描いていただき、会員が審査をして展示（VR展示も含む）、市長賞などの金賞、銀賞、銅賞など表彰式を行い児童や保護者、参加された方にとって良い思い出や絵を通して心の発達などになればと考えております。

また、姉妹友好にも非常に力を入れており、岩手県の花巻南ロータリークラブ、台湾の台北七星ロータリークラブと毎年のように交流を図ってまいりました。この交流を通して国際意識はもちろん、ロータリークラブの楽しさや意義などを感じている会員も多くいます。今年度は米山奨学生としてネパールからの奨学生シュレスタ・スザンさんを迎えています。積極的に活動されているスザンさんとクラブとの交流を継続し、今後日本との懸け橋になることを望んでいます。65年に向けた第1歩のような1年だと思えます。



座間ロータリークラブ

会長 楠木重治

座間ロータリークラブでは、会員が共に育つという考えのもと、会員相互の親睦を通じて地域社会との連携をはかり、様々な活動に取り組んでいます。

奉仕活動を行うことでプレゼンテーションを行うためのスキルの向上、そして他では会うことの出来ないような人々との出会いが得られます。また地域社会の問題や世界が抱える課題を解決するために、さまざまな分野の仲間と共にプロジェクトに取り組めるのも、座間クラブならではの魅力です。

座間クラブ会員の半数以上は活動歴6年未満の経験の浅い若いメンバーなので今年度は「気づき～小さなきっかけで、大きな気づきを与える～」をテーマに活動の趣旨を深く理解しながらクラブとして、人として更なる活性化を図り奉仕活動・継続事業に取り組んでおります。

今後の座間クラブにご期待ください。



大和中ロータリークラブ

会長 中村友彦

今年度の当クラブは24名でのスタートとなりましたが、継続して行っています二つの奉仕事業をしっかりとやり遂げることが出来ました。

一つ目は、11月に開催しました児童発達支援施設に通う未就学児とそのご家族を招待し、映画館のスクリーン一つを貸し切り、自由に楽しみながら映画観賞を体験してもらう事業と、二つ目が、大和自動車学校で開催されました「交通事故撲滅大作戦」と称した交通安全教室になります。

今後は当クラブにある青少年育成基金で大和市内小学校2校を対象とした助成を行う予定です。この事業も10年以上にわたり継続されている誇れる事業になりますので、しっかりと繋げていきたいと思っております。

どの事業におきましても当クラブのメンバーは笑顔で楽しみながら参加してくれています。親睦活動や同好会も同様、笑顔多く楽しんでいます。

ONとOFFのけじめがしっかりとしているメンバーがそろった当クラブ、一緒に楽しむ会員を増やすため、増強もがんばります。



クラブ紹介

第6グループ

厚木中ロータリークラブ

会長 建部 覚

厚木中ロータリークラブは1978年創立のクラブで、多くの長寿会員が所属しています。そのような長寿会員も含めて、例会をはじめ地区の事業にも高い出席率を誇っています。

当クラブではインターアクトクラブとローターアクトクラブを提唱しています。インターアクトについてはコロナ禍においての校外活動の制約、設置高校の統廃合などによりアクター不在の期間がありましたが、校長先生をはじめ顧問先生とともにロータリークラブとしてもアクター獲得に奮闘しています。ローターアクトクラブは少人数ながら着実に活動を続けており、彼らの例会にはロータリアンが必ず出席するように努めています。

当クラブは少数会員ながら、実に和やかに活動を続けております。財政的な都合もあり多くの親睦例会を開催することはできませんが、ゴルフ同好会の活動や、親睦例会では和気あいあいとした雰囲気の中でロータリアン相互の親睦を深めています。「少人数ながら輝きたい」「元気あふれるロータリアンを目指したい」これが厚木中ロータリークラブの目指すところです。



大和田園ロータリークラブ

会長 開保津 昭彦

大和田園ロータリークラブは1983年に創立し40年を過ぎました。創立当初は東急田園都市線が大和中央林間駅に接続されるとのことで、「田園」と命名されました。その間4カ所の例会場を経て現在は大和駅近くの北京飯店にて毎週金曜日に例会を開催しています。

今年度は当クラブから創立後初めて地区ガバナーを輩出しましたので、全員でガバナーはじめ地区幹事、副幹事を応援する年度でもあります。特に地区大会は第6グループ内地域での開催は初めてで時代の流れと開催地域の環境を踏まえ恒例の大懇親会は開催しないなどの大会になりましたが、第6グループコホストクラブの皆様のご協力もあり記念ゴルフ大会も含め無事終了することができました。

11月末でガバナー公式訪問も全クラブ終えて、当クラブ最終訪問当日は地区内ガバナー補佐の全員が佐々木ガバナーを労い集まって頂きましたが、後半もスイッチを入れ替えて「ロータリーのマジック」を楽しくラウンジしていきたいと思っております。



海老名ロータリークラブ

会長 内野 一成

今年度もスタートから早や半年が過ぎ海老名ロータリークラブは地域社会に必要とされる活動に注力して参りました。8月は青少年育成事業として「海老名ロータリークラブ杯 えびなっ子将棋名人戦」、10月には海老名市で開催される「えびな健康マラソン大会」への協賛や運営の支援に取り組みました。マラソン大会では世界ポリオデーに合わせたポリオ根絶活動のPRを実施しました。今後は台湾の姉妹クラブである華安ロータリークラブとの相互訪問。また2月に開催予定の第6グループIMにおいてはホストクラブとして参加し、テーマである「増強」についてクラブ内で熟考を重ねているところでございます。



当クラブは4名の新入会員を迎え現在53名の会員で活動をしております。増強はクラブの源泉であり活動の幅を広げると同時にロータリーを最大限にPRが可能な手段であると思います。私の信ずるところの「出会いが出会いを呼ぶロータリーのマジック！」を使って更なる増強活動にも努めて参る所存です。



北浜健介八段と一緒に



えびな健康マラソン大会



入会対象者との懇談会

海老名樺ロータリークラブ

会長 篠原 康史

海老名樺ロータリークラブは、次年度、創立30周年を迎えます。現在、クラブメンバーは35名おり、そのうち7名がチャーターメンバーです。伝統を重んじつつも、アットホームな雰囲気の特徴のクラブです。



奉仕事業については2事業行っており、1つ目はクラブ名の由来となっている海老名の大樺（県指定天然記念物）の清掃、2つ目は市内バスケットボール大会へメダル・トロフィーの授与を行っております。いずれも大変喜ばれている事業なので、今後も継続していきたいと考えております。

また、本年度は、地区補助金を活用し、市内学習支援事業（無料塾）の利用者等に向けて、食品ロス問題の解消という観点から食支援事業を実施しております。

具体的には、冷蔵庫・冷凍庫を設置し、地元の商・農業者の方から、廃棄前の食品等をご提供いただき、利用者の方に活用していただくという事業です。



クラブ紹介

第6グループ

厚木県中央ロータリークラブ

会長 関原敏文

若くて元気のあるクラブと言われ続けて27年経ちました。国際奉仕活動として、日本の看護師がボランティア医師を集めてラオスの無償医療活動を行っています。私達はフレンズ・ウイズアウト・ア・ボーダーJapanを支援し、現地で縁日を開催します。社会奉仕活動として、青少年を対象とした野球・ソフトボール・柔道・剣道大会とスキー教室への5つの支援を行っています。難病や重い障害のある人でも自宅のベッドの上からリモート参加出来るウルトラユニバーサル野球大会への協賛と、全試合の人的サポートを行います。



本厚木駅前での献血活動も行いました。令和7年5月31日(土)の公開例会では、厚木市文化会館小ホールにて、小中高生の吹奏

楽部の子供達を対象にプロによる無料演奏会を開催致します。本年度は、青少年交換留学生を受け入れ、台湾の高校1年生女子『ユン・イエスル』を迎えて、会員達の優しい笑顔が増えました。これ等全て『ロータリーマジック』です。笑顔で楽しいロータリーライフは会員一人ひとりの力の結集で作られています。



本厚木ロータリークラブ

会長 中村昭夫

本厚木ロータリークラブは2018.3.16にRI認証を受け、今年度は設立7期目を迎えています。現在、会員数35名、毎月の例会は第1・第3木曜日18時30分からの夜間例会を開催し平均年齢58歳のクラブです。

当クラブは「地域社会への貢献」と「会員間の親睦」を活動の柱に掲げています。特に地域の少年野球チームを応援する取り組みを通じて、次世代の育成とスポーツ文化の発展に寄与しています。毎年9月から10月にかけて本厚木ロータリークラブ杯を実施し、野球少年からエネルギーをもらっています。

また、会員同士の絆を深めるため同好会活動にも力を入れ、多彩なイベントや趣味の集いを通じて交流を深めています。ゴルフ・野球・グルメ・花見・旅行・中国語同好会があり例会以外の場でも親交を深め会員維持と増強に繋がっています。

これらの活動を通じて、地域社会とクラブメンバーが一体となり共に成長できる場を築いていきたいと考えています。



ガバナーノミニー確定宣言

《国際ロータリー第2780地区 2027-2028年度ガバナーノミニー確定宣言》

2024年10月2日付けで各クラブ宛に、2024年12月2日12:00を締切とし、最適任の会員を2027-2028年度ガバナーの候補者としてご提案頂くように各クラブに要請致しました。

2024年12月6日14:30より指名委員会を開催し、討議致しました結果、横須賀ロータリークラブよりガバナー候補者として提案のありました前田長生（まえだちょうせい）会員を2027-2028年度ガバナーとして指名されました。

期日までに他のクラブからの候補者はおられませんでしたので、横須賀ロータリークラブの前田 長生会員が、2027-2028年度ガバナーとして指名されましたことを茲に宣言致します。



ガバナーノミニーデジグネート
なえだ ちょうせい
前田 長生
(横須賀RC)

所属クラブ 横須賀ロータリークラブ
生年月日 1951年9月30日 (73歳)
職業分類 医師 (外科医)
勤務先・役職 大滝町乳腺消化器クリニック 院長

ロータリー歴

2009年12月 横須賀ロータリークラブ入会
2022~23年度 会長
2015~16年度 クラブ財団委員長
2023~24年度 補助金配分・V T T委員会 委員長
2024~25年度 第1グループ ガバナー補佐
オンツォー・カルガリー国際大会委員会 委員
地区危機管理委員会 委員
ベネファクター/マルチプル (財団・米山)



文庫通信 [389号](#) : 国際ロータリー情報とクラブ活性化 (講演等より)

2025年規定審議会 立法案集 25-01 から 25-86	-R.I.	2024	209P
2024年決議審議会決議案	-R.I.	2024	76P
2024年決議審議会決定	-R.I.	2024	5P
ロータリー章典 2024年10月 日本語版	-R.I.	2024	640P
ロータリー財団章典 2024年10月 日本語版	-R.I.	2024	401P
「クラブの強化」と「世界の中のロータリー」	田中作次	D.2820 地区大会報告書	2021 9P
元気なクラブづくりを目指して	水野 功	D.2620 地区大会報告書	2021 3P
クラブの運営、事業の実施にあたり(月信抜粋)	千葉憲哉	D.2740 月信	2023 19P
クラブの維持存続と管理運営	高良 明	D.2590 地区協議会報告書	2023 5P
クラブ活性化のために (クラブ活性化セミナー資料)	田中久夫	D.2740	2024 45P

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番16号 第3小森谷ビル別館6階
TEL:03(3433)6456、FAX:03(3459)7506

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



かみした みつはる
神下 満治
①横須賀
②2024. 10. 04
③宝石販売
④濱田 恵里



いかり みちこ
碓 美智子
①秦野
②2024. 11. 12
③証券業
④宇山 忠男、
安江 恵



くさやま みねお
草山 美根男
①秦野中
②2024. 11. 22
③司法書士
④関野 恵雄



おざわ あつし
小澤 敦史
①平塚
②2024. 11. 28
③弁護士
④常盤 卓嗣、
白石 慎太郎



きねぶち てつや
杵瀨 哲也
①横須賀
②2024. 11. 29
③信用金庫
④小沢 一彦



にいむら きよひと
新村 清仁
①海老名
②2024. 12. 02
③生命保険業
④須藤 雄司



ふかす やすひろ
深須 康宏
①海老名
②2024. 12. 02
③自動車整備業
④内野 一成



あくざわ たかし
阿久沢 隆
①藤沢
②2024. 12. 04
③通信事業
④吉野 貴美



まつせ ようこ
松瀬 洋子
①藤沢
②2024. 12. 04
③不動産業
④大小原 徹



ふじおか ひろし
藤岡 博
①大和中
②2024. 12. 05
③古物商
④岸 幸博



のむら やすひで
野村 康英
①海老名樺
②2024. 12. 05
③建築防水工事業
④篠原 康史、
窪 悠久



まの としかず
真野 俊和
①横須賀
②2024. 12. 06
③生命保険
④岡田 英城

訃報 ご冥福をお祈り致します



いしい ひろし
石井 博 (藤沢東)
2024年11月30日逝去 (享年90歳)
1995年6月1日入会
2008~09年度 クラブ幹事
2010~11年度 クラブ会長
2016~17年度 クラブ会計
米山功労者



ねぎし のぶゆき
根岸 信行 (相模原)
2024年12月2日逝去 (享年86歳)
1987年3月5日入会
マルチプルPHF/ベネファクター
米山功労者/マルチプル



おぎわら やすあき
荻原 保典 (相模原西)
2024年12月3日逝去 (享年83歳)
1981年4月28日入会
1992年度 クラブ会長
2013年度 ガバナー補佐
ベネファクター/PHF/マルチプルフェロー(5回)
米山功労者/米山マルチプル(5回)



